

佐武流山 2192M

⑨ 10/2～3 日本 200 名山、信州 100 名山。Y 氏と

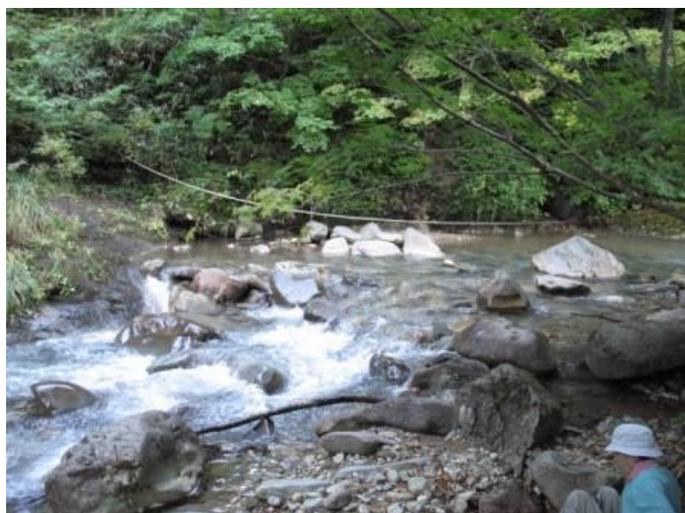
10/2 (木) 晴れ Y 氏とは明日早朝登山口で合流なので私は栄村和山の「佐久間荘」に前泊のため朝に出発し、小布施の町を久振りに見物、其の後「人工内耳友の会信州支部」の副会長の S さん宅に寄り、志賀高原経由で栄村へ向かう。温暖気候で志賀高原の紅葉は遅れていてまだ早かった。登山口を確認してから宿へ向かう。登山口が移動している。(林道のゲート手前から、500M 位手前の広くなった所に新しい登山口があった。同時にルートも変更になった) 宿に早く着いたので近くを散歩する。目の前に鳥甲山が大きい。この山は群馬の Y 夫婦と登った懐かしい山である。其の時も私は前泊した。何となく「秋山郷」は好きである。「陸の孤島」のイメージのせいかな? 何回も栄村へは足を運んだ、時間のかかる所なのに。泊まり客は私一人だけ。奥さんが話し相手になってくれた。聞きもしない身の上話を喋っていた。神奈川県から嫁いだとの事である。大変な田舎へ来たものだ。

10/3 (金) 晴れ 5:00～5:15 登山口 (Y 氏と合流する) 5:30～6:00 林道合流点～7:05 林道からの下降点～7:15 渡渉点 7:30～8:16 物思平 8:25～9:16 ワルサ峰 9:35～10:06 西赤沢源頭 10:20～10:33 坊主平～11:12 山頂 (昼) 12:20～13:40 ワルサ峰 13:50～14:30 物思平 14:40～15:10 渡渉点 15:20～15:33 林道 15:37～17:05 登山口 17:25～飯山経由～20:46 自宅 (往路 156KM、復路 164KM、計 320KM 走行)

新登山口



渡渉点



早く寝て早く起きてむすび食べて、出す物出してから宿出発、Y 氏はまだ車内で寝ていた。私は最近膝の様子がおかしくて内心途中でリタイヤ覚悟である。その旨 Y 氏に伝える。一度は諦めた「健脚コース」であるが新潟の O さんが 8 月に登ったと聞いて「女に負けてなるものか。」(失礼) ではないが 5 年かかりの挑戦である。単独行が先行した。どうも駐車スペースの関係で登山口を変更したようだ。昔からある「作業道」のようなルートを歩き林道に出て、林道を少し歩くと前からの「林道コース」に合流する。近道とは書いてあるが何となく時間がかかる。紅葉の快晴の快適な登山日和である。水量も多くなさず心配した「渡渉」も難なくクリア。登山道も予想以上に手入れがされてシッカリしている。途中で単独行を追い抜く。40 歳台の失業中なのか連日登山しているようだ。安曇野市から来たと言っている。我々が下山する頃やっと山頂へ来た。

白砂山へは無理



苗場山を望む



山頂は木があつて展望も半分位。白砂山方面はやはり「廃道」でヤブになっている。膝は幸い何ともない。ユックリ下山する。Y氏は体型から身軽で早い。私も5KG減量すれば「膝、腰」に良いのだが。帰路は「近道」でなく「林道」をそのまま歩こうと思ったが「安全策」で往路を歩いたがどうしても「近道」とは思えない。それが証拠に我々が登山口に到着してしばらくすると、単独行が「林道」を歩いて戻ってきた。彼も時間的に帰路が短いと言っていた。それにしてもそれほど疲労感がない。まだまだ俺も大丈夫？

数日後佐武流山で単独行が転落死した。そんな危険なところはなかったのだが。